

研究活動報告

昭和42年1月より同12月までの本学専任教員の研究活動は次の通りである。

1. 国文学部門

斎藤清衛（教授）

- 秋夜長物語について、「甲南国文」（甲南女子大学国文学会）第14号，42. 1.
- 国文学研究の基盤，「試論」（武蔵野・甲南文学会）第13号，42. 9.
- 日本文学の形態，「国文学」（学燈社）第12巻第13号，42. 10.

前田正民（教授）

- 謡曲「藤」について，「甲南国文」（甲南女子大学国文学会）第14号，42. 1.
- 謡曲「江口」に於ける世阿弥自筆本・光悦本・現行観世流本の対照，「甲南女子大学研究紀要」第3号，42. 3.

三沢諄治郎（教授）

- 再び南梁漢比丘守温について，「甲南国文」第14号，42. 1.

鎌田良二（助教授）

- 愛媛県西南部方言語法——語法境界の試み——，「甲南女子大学研究紀要」第3号，42. 3.
- 日本語アクセントに関する意識——中学生の場合——，「音声学会会報」（日本音声学会）第124号，42. 4.
- 方言文法の方角——方言文法にあらわれた問題の処理——，国学院大学国語国文学会研究発表会秋季大会にて発表，42. 11.
- 格助詞「の」「が」について，武蔵野・甲南文学会例会にて発表，42. 11.

森 一郎（助教授）

- 源氏物語の研究書を主とする平安文学研究書の書評・紹介，「甲南国文」（甲南女子大学国文学会）第14号，42. 1.
- 藤壺物語の主題と構成——源氏物語第一部前半の世界構成・恋と栄華

——, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.

- 勾宮・紅梅・竹河三帖の構想の方法, 広島大学教育学部国語教育学会(広島大学)にて発表, 42. 8.
- 源氏物語の構想の方法——勾宮・紅梅・竹河の三帖をめぐって——, 「国語と国文学」(東京大学国語国文学会)第44巻第10号, 42. 10.
- 源氏物語「紅葉賀」巻について, 大阪国文談話会源氏物語講座(円珠庵)にて講演, 42. 11.
- 『一条摂政御集注釈』, (東京, 塙書房, A 5 版, 223 pp.) 42. 11. (共著)
- 源氏物語研究の課題と方法(新しい研究への抱負), 「国文学」(学燈社)第12巻第15号(特集 王朝物語文学の世界), 42. 12.

2. 英文学部門

鳴沢寡愆(教授)

- GLIMPSES OF THE PRE-RENAISSANCE LITERATURE, 「甲南女子大学英文学研究」第4号, 42. 12.

辻前秀雄(助教授)

- LL における Man-Machine Relationship の考察, 「甲南女子大学英文学研究」第4号, 42. 12.

添田 透(助教授)

- Personality of Shakespeare seen through Shylock in *The Merchant of Venice*, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.
- Wordsworth の Symbolism についての一考察, 日本英文学会第20回中国・四国支部大会(山口大学)にて発表, 42. 10.
- 辞書あれこれ, 「甲南女子大学英文学研究」第4号, 42. 12.

大榎茂行(助教授)

- Hardy の melancholy romanticism について——過去への関心——, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.
- 書評: Albert H. Marckwardt, *Linguistics and the Teaching of English*, 「甲南女子大学英文学研究」第4号, 42. 12.

宮田満雄（講師）

- Ernest Hemingway と自然, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.

松原恭子（講師）

- Iris Murdoch の世界——*The Bell* の場合——, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.

中野喜美子（助手）

- 真実の探究——*Emma* にみる——, 「甲南女子大学英文学研究」第4号, 42. 12.

3. 一般教育部門

大伴 茂（教授）

- 翻訳：『遊びの心理学』（名古屋，黎明書房，B5版，276 pp.）
〔原書：Jean Piaget, *La formation du symbole chez l'enfant*, 1945〕
42. 6.

上田 暁（教授）

- Relief について, 1967年美術教育研究大会（宮崎市）にて講演, 42. 6.
- 裸婦立像（ブロンズ）, 兵庫県龍野市展に出品, 42. 6.
- 倚立像（彫塑）, 二紀展（東京, 大阪, 名古屋）に出品, 42. 10—12.

上野益三（教授）

- 矢田部良吉博士（生物学の先駆者）, 「遣伝」21巻2号, 42. 2.
- 湖の富栄養化とそれに関連する二三の問題, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.
- On the occurrence of *Daphnia similis* in Japan, “*Japanese Journal of Zoology*” Vol. 15, No. 3, 42. 3.
- 岩崎常正著『武江産物志, 武江略図』解説（同書影印本に付, 東京, 井上書店, 四六版, 80 pp.）42. 5.
- 呉継志著『質問本草』解説（同書影印本に付, 東京, 井上書店, 6 pp.）42. 5.

- Zooplankton of Lake Titicaca on the Bolivian side, "Hydrobiologia" (W. Junk, The Hague) Vol. 29, Nos. 3—4, 42. 5.
- Two new species of Conchostraca (Branchiopoda) from Nepal and Iran, "Crustaceana" (E. J. Brill, Leiden) vol. 13, pt. 3, 1967. 42. 11.

中埜 肇 (教授)

- Philosophie und Menschsein—Zur neuen philosophischen Anthropologie—, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.
- 書評: 山内得立, 『意味の形而上学』 (東京, 1967), 「立命館文学」(立命館大学人文学会) 266号, 42. 8.

水谷英三 (助教授)

- 学生生徒の健康管理に関する調査 (第13報) ——近視の実態とその対策——, 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3.

4. 家政学部門

豊島治男 (教授)

- 米の炊飯特性に関する研究 (第1報), 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3. (共著)
- 食品添加物としての天然糊料, 「甲南家政」(甲南女子短期大学家政科) 第2号, 42. 5.
- 食品・栄養摂取状況に関する研究 (第4報) ——幼児栄養についての1考察(その1)——, 「甲南家政」(甲南女子短期大学家政科) 第2号, 42. 5. (共著)
- 食品・栄養摂取状況に関する研究 (第4報) ——幼児栄養についての1考察(その1)——, 日本家政学会関西支部総会 (奈良教育大学) にて発表, 42. 5.
- 米の炊飯特性に関する研究 (第2報) ——酵素添加炊飯米について——, 日本家政学会関西支部研究発表会 (甲南女子大学) にて発表, 42. 11.

奥田和子 (講師)

- 米の炊飯特性に関する研究 (第1報), 「甲南女子大学研究紀要」第3号, 42. 3. (共著)

- 食品・栄養摂取状況に関する研究（第4報）——幼児栄養についての1考察（その1）——，「甲南家政」（甲南女子短期大学家政科）第2号，42. 5.（共著）
- 食品・栄養摂取状況に関する研究（第4報）——幼児栄養についての1考察（その1）——，日本家政学会関西支部総会（奈良教育大学）にて発表，42. 5.
- 米の炊飯特性に関する研究（第2報）——酵素添加米について——，日本家政学会関西支部研究発表会（甲南女子大学）にて発表，42. 11.